

角田高校スクールソーシャルワーカー便り

october,2022 NO.2 SSW 渡邊かなえ

角田高校に勤務し半年が過ぎ、生徒の皆さんが切磋琢磨し、勉強やスポーツに打ち込んでいる姿を間近に感じております。廊下ですれ違ったときなど、明るく丁寧な挨拶をしていただきとてもうれしく感じます。今回は、聞き慣れないかもしれませんが、社会問題となっているヤングケアラーについて特集をします。

ヤングケアラーって 知っていますか？

家族にケ

アを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートを行っている18歳未満の子どもをいいます。

- 障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事。
- 家族に代わり、幼いきょうだいの世話。
- 障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守り。
- 家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。
- アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。
- がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病。
- 障がいや病気のある家族の身の回りの世話。

©一般社団法人日本ケアラー連盟 より

ヤングケアラー の現状と実数

令和2年度厚

労省の調査では世話をしている家族がいると回答した中学2年生は5.7%、全日制高校2年生は4.1%との結果が出ています。これは回答した中学2年生の場合の17人に1人がヤングケアラーだったということになります。



困っている家族のお手伝いを するのは当たり前じゃない？

ヤングケアラーの背景には、少子高齢化や核家族化の進展、共働き世帯の増加、家庭の経済状況の変化といったさまざまな要因があります。こうした中で、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことが社会問題ととらえられています。

家族のケアをすることでヤング ケアラーの生活にはどんな影響が 出るのでしょうか

自分の時間が取れない、勉強する時間が充分に取れない、ケアについて話せる人がいなくて孤独を感じる、ストレスを感じる、友人と遊ぶことができない、睡眠が充分に取れない。このように、子どもや若者が担うケアの負担は大きいものがあります。

●学業への影響

遅刻・早退・欠席が増える、勉強の時間が取れない等

●就職への影響

自分にできると思う仕事の範囲を狭めて考えてしまう、自分のやってきたことをアピールできない等

●友人関係への影響

友人等とコミュニケーションを取れる時間が少ない等

もしかしたら自分かも？ と感じたら…

家族の手伝い・手助けをするのは「ふつうのこと」と思うかもしれませんが、でも、学校生活に影響が出たり、こころやからだに不調を感じるほどの重い負担がかかっている場合は、すこし注意が必要です。自分のことや家のことを話すのは勇気がいると思います。

でも、あなたの話を聞いて、共感してサポートしてくれる人は必ずいます。学校の先生・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・友達など、信頼できる相手に相談してみましょう。対面が苦手という場合は匿名にて電話相談もいいでしょう。

**「24時間子供SOSダイヤル」
0120-0-078310**

誰かに相談すること で楽になります。

「自分は一人じゃない」「誰かに頼ってもいいんだ」と思える、子どもが子どもでいられるように…

ヤングケアラーである状況を改善するには、外部からの支援が必要になることが多く、ヤングケアラーの支援ニーズについてのアセスメントを行い、必要な支援につなげていく体制を整備していくことが大切です。

